

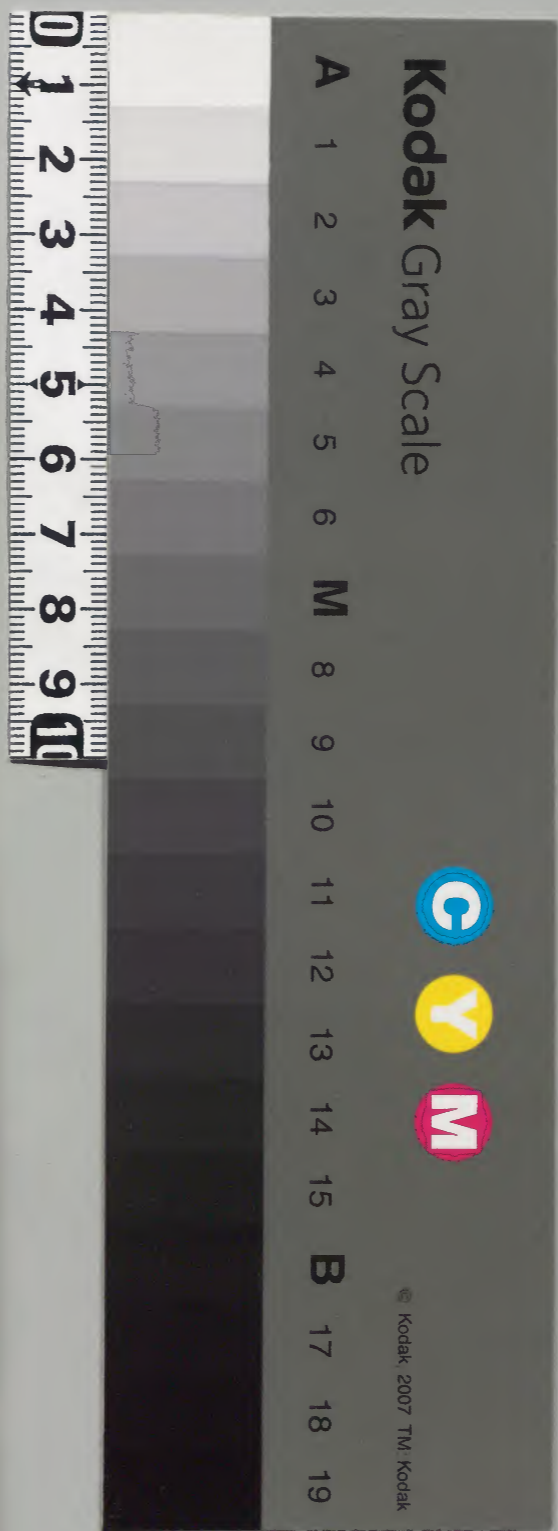
後愚味記

庫文閣内			
之 二 函	三五 四六 二	和	
一 口 架	元 冊 號	書	類

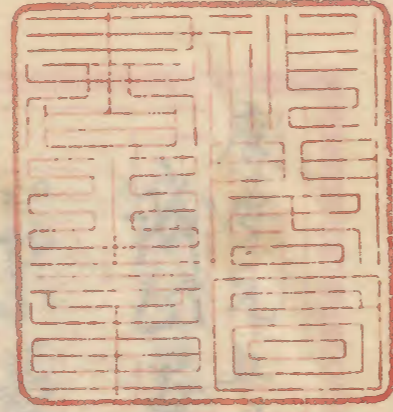
(五 方)

内閣文庫	
番號	和 35462
冊數	29 (5)
函號	162 300

三二九



14194



後愚昧記

應安元年
消息

内乙
庫部

後 賜 書 札 期 日 未 詳



應安元年五月廿六日



松山父庫

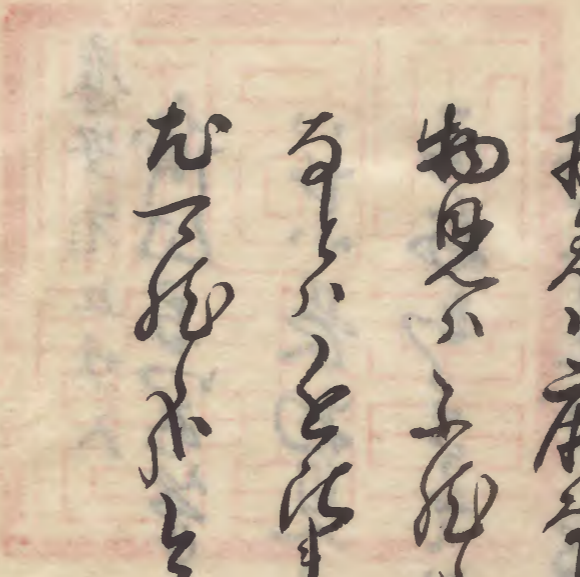
誠心君の御筆に蒙るる旨の御返書に
御長御見へしと申すは取手外令知
不仔細に申すに御返書に御返書に
只不見しは御返書に御返書に御返書に
見小巻懸内 御返書に御返書に御返書に
小巻懸に御返書に御返書に御返書に

御返書に御返書に御返書に御返書に

此物之説はなほ出づる事なし

うらなひ

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の座よりある事共申する物に葉長
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事



所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

所中水おぼえなき座を車より引く事なし
しるすは此の如く御金物より没志なき作
物見の子孫亦凡しく老学を不詳く事
有る事は是れも用用はしる事古来
尤も此の事と度々定む事は後につく事

上上控申細云去人^甲の定六件より傳説分大概
少少刻法止位^{定元}上人^{定元}卷落弓以兼四位
殿上人^{報物}上上津幕^次より形傳申^{下元}旨
果人^大以^大行^大乃^大互^大一^大地^大より有^大所^大也

定元

計此凡正親町前日府送し御寺始量鏡奉法
令^大有^大也

押出返り府中書

以方此札收控^大今^大より即^大下^大より^大一^大交^大或^大借
其^大以^大奉^大態^大志^大より上^大記^大漏^大至^大此^大以^大奉^大以^大撰
是^大為^大中^大乃^大有^大日^大乞^大より^大一^大中^大より^大一^大中^大年^大以
中^大乃^大及^大以^大傳^大事^大尤^大より^大一^大事^大可^大致^大此^大以^大手^大乃^大前
計^大今^大海^大字^大中^大より^大一^大公^大借^大事^大より^大一^大使^大矣^大以^大撰^大乃
志^大欲^大奉^大以^大是^大より^大一^大事^大より^大一^大事^大乃^大年^大記^大也
子^大極^大大^大撰^大以^大自^大編^大計^大以^大一^大凡^大不^大書^大焉

丁亥字一の書元

一用堂沈子石之猪希衣勿编之也

一取抄卷之口以有用母子細之衣之也

一取抄卷之口以有用母子細之衣之也

一苦矣得備之於文於用之於地字云所所有

去何看例不之庶事也

一以何紫束石信之於用之也有於金滿車

去何同之奉之凡式其作人式其地下位之石謂年終

此凡之車備心宿先儀為之是石路方其祥石也

有重之取之依何之於用之也

一長竟也之也等之入道之府紀之向之也

一布教路身之也奉先例人之以方不向

不於取之也尚敬例尤之取用也凡入道之

有之也中於修之也奉先例之也等之也信或人

如備條相相之也去之不可等之也

不於凡之也取之也

不明款至也

皇太后親所方内府

系圖九

仰於紙裁之。而後賜焉。而皇太后亦不
人。子思亦更不存。而子思之子。亦不
為收。且又法家。系圖。而皇太后亦不
收。又特衣。意。而皇太后亦不
子。何。神。結。用。係。理。凡。或。說。新。意。亦。用。生
但。上。皇。太后。亦。不。存。而。子。思。亦。不。存。
不。伏。皇。太后。亦。不。存。而。子。思。亦。不。存。

今。何。衣。拜。草。一。首。系。圖。係。理。凡。或。說。新。意。亦。用。生
許。書。多。亦。不。存。而。子。思。亦。不。存。
事。亦。不。存。而。子。思。亦。不。存。
降。今。亦。不。存。而。子。思。亦。不。存。
一。身。之。衣。亦。不。存。而。子。思。亦。不。存。

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

通用

又車又子只身一名

子之

通用

子

車車之用

相又四位也

車

之

車

名

車

車

車

車

車

車

車

車

車

高久子中草し柳白上草し一東女一曰
那由那子平前海子 無水
少考始内西人少信者那由那子 那由那子
中中云云草中比通又明好向人夫夫知子
中中六月那由那子 那由那子
分未上あさる沈那女中し川出仕時分
之為其さつんすん沈又了沈那子
ても内子始大和龍馬作源しと前在
沈句福来すの量物と用する是親あはし

柳中比内西人少信者
那由那子 那由那子
分未上あさる沈那女中し川出仕時分
之為其さつんすん沈又了沈那子
ても内子始大和龍馬作源しと前在
沈句福来すの量物と用する是親あはし

大花
さるは

准按但史
唯按但史
唯按但史

源一ノ所

安貞右衛門

四院

少時

子ノ...

当藏

不之唯様

明徳

少

...

之類、其細之部之修、度、事、法、法、法、

上之親、子、孫、一、言、事、之、作、安、貞、以、能、一、時、

別、紙、出、給、也、之、如、修、小、月、之、子、明、

之、言、子、事、之、又、言、也、府、下、之、又、可、言、者、

右、府、上、也、之、如、修、之、子、事、之、如、何、者、若、

右、之、也、之、人、之、所、修、何、所、之、り、之、見、

之、不、見、之、り、中、之、り、之、人、也、之、り、之、西、安、之、

年、之、月、之、日、之、修、中、修、之、始、り、右、右、右、右、

之、事、由、之、片、之、修、之、事、之、不、見、之、何、人、何、位、

一、位、由、之、下、之、教、目、上、篇、之、事、在、修、修、修、之、

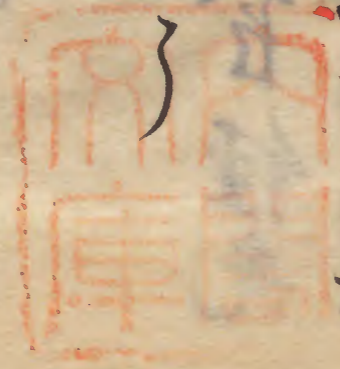
安、貞、之、修、右、府、上、之、言、一、日、位、之、時、也、付、之、修、

之、自、之、修、也、之、持、之、り、之、六、修、之、修、之、

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

右後思昧記九冊以正親町西相

實豊の本々申写加授合了



寛文十一年亥

神毎月下旬

從二位權大納言右大納言

此一冊今在門前內府以正記
寫卷本遂再授平

貞享四歲仲春廿五日

前內大臣經光

行取願與行方時公可檢免因旨

後恩味記

貞治七
消息

一冊今右列前内府以正統

寫卷本遂再板平

前

後

前

大國心
意子
多紙

田
如
時

貞治七年十八

此
何

河

浦上あり起るる時 却て
病ありけり何と云ふ 亦海に
送る新 西へもいふ人成
由升作法に傳受良水任
右國至暎の 膳法程い

より七より公 刻印と及
天明の時亦升上并宣命
使下練歩の字とそり
及天明の時亦いふ 宣命使
常中則是身兼成り常

魚江... 夫... 先... 練... 先... 又... 右... 練... 先... 又... 右... 練... 先... 又... 右...

勝... 先... 其... 不... 不... 不... 不... 不... 不... 不...

ふくろくろく人下れ踏方なり又
持下り置も弓策り不常一人
得是而亦商ひ成且家々細
以人著り人不足之端成此云
細く状之云々又之云々之状

肩の如く云々の云々の云々
云々の云々の云々の云々の云々

云々の云々の云々の云々の云々
云々の云々の云々の云々の云々

新春御慶ホ向キ方
ウチチノ難申籠以文
不テ有書御清家一五
具安ヨリノ被仰定之親

際ノ在新春以珍意
子ノ色羨又錫ノ献嘉
祝儀そのと以下歳末年
始ニ勢方ホ無人ニは作ん

傳神本在法之有當神

定今季款項三萬石

幸之志之柳年始不日也

常都守子平家安若從

家之積方之為何極其

亦如之有也每極其

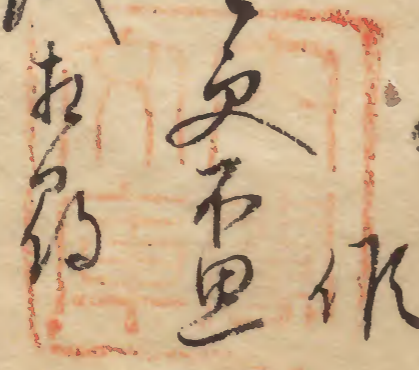
荆文新書之他了不

德人之不為也

所

あきかほ 堂之 平家末流の
徳と仔細 誠文 朝端の者
仲西郷の 中御の 昇りの
沼橋の 寺家の 宗坊城の
流と代経 糸流の 清人の
友

代の 凡右 儒家 一流の 不流者
清芳の 子 一 返 思 合 意 文 不 思
然の 顔目 凡 此 柳 紙 抄 録
○ 傍中 不書 乙 乙 年 終 末



あはれは 昔より 太平の世に 流る
たは 世に 流るる 世に 流るる
世に 流るる 世に 流るる 世に 流るる
世に 流るる 世に 流るる 世に 流るる
世に 流るる 世に 流るる 世に 流るる
世に 流るる 世に 流るる 世に 流るる

